



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 技研興業株式会社
 コード番号 9764 URL <http://www.gikenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 温
 (氏名) 会田 直樹

TEL 03-3398-8500

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,795	25.2	557	441.7	549	495.1	316	309.2
25年3月期第2四半期	5,429	61.2	102	—	92	—	77	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 327百万円 (414.4%) 25年3月期第2四半期 63百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.36	—
25年3月期第2四半期	4.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,912	5,978	54.8
25年3月期	10,877	5,700	52.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,978百万円 25年3月期 5,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,400	7.5	830	62.2	810	66.4	470	26.4	28.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	16,640,000 株	25年3月期	16,640,000 株
② 期末自己株式数	273,284 株	25年3月期	267,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	16,369,807 株	25年3月期2Q	16,380,759 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の各項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和策や緊急経済対策等の景気刺激策により過度の円高が修正され、企業の業況感も輸出や生産の持ち直しを背景として改善の兆しがみられるなど、徐々に景気回復に向けた動きがみられるようになりました。しかしながら諸外国では、新興国での経済成長鈍化、緊迫する中東情勢等といった懸念材料もあることから、実体経済や景気の先行きには懸念も広がっております。

当建設関連業界におきましては、施工人員不足や建設資材の供給難などから、一部に着工の遅れや工事単価の上昇等の懸念材料はあるものの、概ね堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当企業集団は、東日本大震災の復旧・復興需要に重点的に取り組むほか、経営資源の効率化や再配分を推進し積極的な営業活動を展開した結果、受注高は、前年同期比19.1%増の9,262百万円となりました。

売上高は、前連結会計年度末の受注残高が相当程度あったこと及び受注の拡大が売上高に貢献したこと等から、前年同期比25.2%増の6,795百万円となりました。

利益面につきましては、建設関連業界特有の季節的な要因及び工事単価の上昇等から、土木関連事業では固定経費を吸収できず営業損失となりましたが、比較的採算性の良い型枠貸与関連事業の売上高が大きく伸長したことや、一部のセグメントでは受注案件の絞り込みを実施したこと等から、営業損益は、前年同期比441.7%増の557百万円の利益、経常損益は、前年同期比495.1%増の549百万円の利益、四半期純損益は、前年同期比309.2%増の316百万円の利益を達成し、増収増益となりました。なお、次期繰越高は、前年同期比21.5%増の7,406百万円となっております。

当企業集団の前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間（年度）別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第2四半期連結累計期間	3,748,636	7,775,168	5,429,548	6,094,256
当第2四半期連結累計期間	4,939,401	9,262,495	6,795,701	7,406,196

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(土木関連事業)

受注高は2,815百万円（前年同期比20.5%増）、売上高は1,770百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント損益は105百万円の損失（前年同期は123百万円の損失）となりました。

(建築関連事業)

受注高は4,078百万円（前年同期比23.3%増）、売上高は2,642百万円（前年同期比10.5%増）、セグメント損益は201百万円の利益（前年同期比44.0%増）となりました。

(型枠貸与関連事業)

受注高は2,166百万円（前年同期比15.2%増）、売上高は2,097百万円（前年同期比58.5%増）、セグメント損益は571百万円の利益（前年同期比167.3%増）となりました。

(ハウジング事業)

受注高は173百万円（前年同期比16.2%減）、売上高は256百万円（前年同期比30.2%増）、セグメント損益は29百万円の利益（前年同期は14百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

受注高は28百万円（前年同期比35.8%減）、売上高は28百万円（前年同期比33.5%減）、セグメント損益は20百万円の利益（前年同期比32.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末(平成25年3月31日)に比べ34百万円増加し10,912百万円となりました。これは賃貸用鋼製型枠の取得による固定資産の増加等によるものであります。

また、負債合計は、4,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ243百万円減少しました。これは、受注増による未成工事受入金の増加があった一方、工事未払金等の仕入債務の支払いによる減少、短期借入金の返済による減少等によるものであります。

純資産は、剰余金の配当が49百万円あったものの、当第2四半期連結累計期間の四半期純損益が316百万円の利益となったこと等により前連結会計年度末に比べ277百万円増加し5,978百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.4ポイント上昇し54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想等につきましては、土木関連事業、型枠貸与関連事業を中心に、東日本大震災関連の受注が引続き拡大傾向にあること及び建築関連事業においても、受注案件の取り込みが堅調に推移していること等から、受注・売上・利益とも相当程度の上含みで推移するものと想定されます。しかしながら、予算の執行や工事着工の時期、工事単価の変動、繰延税金資産の再評価等、現時点では見極めるのが困難な要素もあることから、平成25年8月1日に公表しました予想数値を据え置くこととし、業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

なお、配当予想につきましては、堅調な業績の推移であることを鑑み、平成25年10月25日に配当予想を、従来予想の1株当たり2円から2円増額し4円に増配する予定に修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,073,640	1,787,154
受取手形・完成工事未収入金等	5,011,128	4,170,399
有価証券	—	100,006
その他のたな卸資産	332,388	267,723
その他	146,102	195,269
貸倒引当金	△58,465	△62,414
流動資産合計	6,504,794	6,458,139
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,237,129	2,237,129
その他(純額)	1,722,120	1,456,594
有形固定資産合計	3,959,249	3,693,724
無形固定資産		
その他	16,479	14,720
無形固定資産合計	16,479	14,720
投資その他の資産		
投資有価証券	262,685	279,789
その他	185,714	513,448
貸倒引当金	△51,296	△47,735
投資その他の資産合計	397,102	745,501
固定資産合計	4,372,832	4,453,946
資産合計	10,877,626	10,912,085
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	1,624,762	1,345,962
短期借入金	1,190,599	914,734
未払法人税等	169,151	270,606
未成工事受入金	217,511	445,732
賞与引当金	127,444	186,885
その他の引当金	14,311	21,584
その他	492,781	423,608
流動負債合計	3,836,563	3,609,114
固定負債		
社債	298,500	252,200
長期借入金	795,480	847,400
退職給付引当金	86,178	73,843
その他	160,486	151,464
固定負債合計	1,340,645	1,324,908
負債合計	5,177,208	4,934,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,843	1,473,843
利益剰余金	3,039,451	3,307,226
自己株式	△33,421	△34,560
株主資本合計	5,599,872	5,866,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,545	111,553
その他の包括利益累計額合計	100,545	111,553
純資産合計	5,700,417	5,978,062
負債純資産合計	10,877,626	10,912,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,429,548	6,795,701
売上原価	4,716,066	5,600,204
売上総利益	713,482	1,195,496
販売費及び一般管理費	610,562	637,979
営業利益	102,919	557,516
営業外収益		
受取利息	1,015	727
受取配当金	2,494	4,256
物品売却益	—	4,302
受取補償金	56	321
貸倒引当金戻入額	1,566	—
その他	3,381	2,515
営業外収益合計	8,514	12,123
営業外費用		
支払利息	15,948	16,983
その他	3,122	3,029
営業外費用合計	19,070	20,013
経常利益	92,363	549,627
特別利益		
受取損害賠償金	13,370	6,200
特別利益合計	13,370	6,200
特別損失		
固定資産除却損	4,365	11,108
投資有価証券評価損	4,984	—
特別損失合計	9,349	11,108
税金等調整前四半期純利益	96,384	544,718
法人税、住民税及び事業税	30,422	261,755
法人税等調整額	△11,481	△33,929
法人税等合計	18,940	227,825
少数株主損益調整前四半期純利益	77,443	316,892
四半期純利益	77,443	316,892

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,443	316,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,700	11,008
その他の包括利益合計	△13,700	11,008
四半期包括利益	63,742	327,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,742	327,901
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	1,474,681	2,391,235	1,323,897	197,171	42,562	—	5,429,548
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,362	△1,362	—
計	1,474,681	2,391,235	1,323,897	197,171	43,924	△1,362	5,429,548
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△123,109	139,802	213,905	△14,494	31,075	△144,259	102,919

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	1,770,732	2,642,234	2,097,731	256,706	28,296	—	6,795,701
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,362	△1,362	—
計	1,770,732	2,642,234	2,097,731	256,706	29,658	△1,362	6,795,701
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△105,115	201,298	571,773	29,337	20,866	△160,643	557,516

(重要な後発事象)

該当事項はありません。